

鳥取県立図書館所蔵難波忠男寄贈資料を中心に

# アマチュア演劇を 生きる

2023年

11|17 金



12|4 月

鳥取県立図書館 特別資料展示室

開館時間 火～金 9:00～18:30 / 土・日・月・祝日 9:00～17:00

休館日 11月30日(木)

主催 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター / 鳥取県立図書館

企画・資料調査 五島朋子(鳥取大学地域学部)

助成 鳥取大学地域参加型研究プロジェクト

とっとり県民カレッジ連携講座

問合せ:鳥取県立図書館(担当:郷土資料課) 〒680-0017 鳥取市尚徳町101  
電話 0857-26-8155(代表) FAX 0857-22-2996 kyodo@library.pref.tottori.jp

# アマチュア演劇を生きる —鳥取県立図書館所蔵難波忠男寄贈資料を中心に—

第二次世界大戦後、新劇運動の影響を色濃く受けた演劇活動が、全国各地で活発化します。自立演劇、青年演劇、職場演劇などと呼ばれ、劇団鳥取市民劇場の代表をつとめた難波忠男氏の演劇活動の展開も、全国的なアマチュア演劇の文脈に呼応するものでした。本資料展では、難波氏が残した1940年代末から1990年代初めの演劇関係資料を展示し、難波氏の演劇人生を辿るとともに、鳥取のアマチュア演劇活動の足跡を振り返ります。

## 展示内容（予定）

### 1 演劇熱・旧制松江高校演劇部

1945—1948年

戦後すぐ1946年には演劇部が創設され、「浜高開校記念祭」などで積極的に上演をしました。戦争の重圧から解放された若者たちは、自由な舞台表現に大きなエネルギーをぶつけたのでした。



A



B



C

### 2 東京で学ぶ・舞台芸術学院

1948—1955年

戦後、東京・池袋に設立された演劇専門学校では、秋田雨雀を始め当時の演劇界を率いる錚々たるメンバーが教鞭を執っていました。難波氏は、父親を説得し上京、学院で本格的に演劇を学びます。通称「舞芸」は現在に至るまで著名な演劇関係者を輩出しています。



D



E



F



G

### 3 孵卵器としてのNHK鳥取放送劇団

1951—1964年

NHK鳥取放送局がラジオ放送のために地元で組織した放送劇団はNHKのラジオ放送以外に、舞台公演も行いました。放送劇団を契機として、「鳥取演劇集団」、「鳥取市民劇場」といった、鳥取に演劇活動を根付かせる息の長いアマチュア劇団が生まれました。また、ドラマ台本の執筆を通じて、多くの書き手が育ちました。



H



I

### 4 劇団「鳥取市民劇場」の活動

1965—1996年

NHK鳥取放送劇団解散後、難波氏や佐藤方伯氏らが立ち上げたアマチュア劇団は、他劇団や様々な文化団体とも交流し活動を継続しました。

### 5 「市民劇」という文化運動

1978—1996年

鳥取市内の複数の文化団体が連携して、オリジナル戯曲を創作・執筆し、参加者を公募、「市民劇」と銘打って鳥取オリジナルの舞台を上演しました。

### 6 アマチュア演劇の広がり

1945—1990年代初め

鳥取大学演劇部、青年団演劇、人形劇団「こうま座」他、様々なアマチュア演劇の団体が活動していました。

- A「国境の夜」秋田雨雀作 舞台芸術学院テキスト/不明
- B「オイディプス王」鳥取県演劇連盟創立10周年記念公演プログラム/1983
- C舞台芸術学院附属研究所第一回試演会チラシ/1955
- D「彼女は再び現れた」NHK鳥取放送劇団第8回舞台公演プログラム/1963
- E「招かれざる客」鳥取市民劇場創立15周年記念公演プログラム/1979
- F「幽霊やしき」NHK鳥取放送劇団公演プログラム/1958
- G「湯殺・鳥取城」公演プログラム/1982
- H放送劇「死に水を下からとった話」田中千禾夫作/1952
- I鳥取県人形劇フェスティバル/不明

## ギャラリートーク

展示資料や戦後のアマチュア演劇の活動について解説します。

【講師】鳥取大学地域学部教授・五島朋子

【日時】①11月18日(土)午前10時半～  
②11月22日(水)午後4時～  
40分程度を予定しています。

予約不要・入場無料  
定員10名程度・先着順

## 難波忠男氏プロフィール

1926年鳥取県岩美町生まれ。子どもの頃から演じるのが好きで、1945年に進学した旧制松江高校では演劇部創設に参画している。演劇への情熱抑えがたく、1949年に上京し、創設間もない「舞台芸術学院」に進学した。卒業後、学院の研究所(後の劇団舞芸座)など東京で演劇活動に携わるも帰郷。日ノ丸自動車バスガイドの育成にあたりと共に、NHK鳥取放送劇団、鳥取市民劇場など、1996年9月71歳で亡くなるまで、鳥取でアマチュア演劇の舞台に携わり続けた。

【資料協力】伊藤げん氏、岡村知子氏(鳥取大学地域学部准教授)  
劇団鳥取市民劇場、島根大学附属図書館、難波信之氏(50音順)

